

〔東日本大震災の災害廃棄物広域処理に関する
質問書回答についての知事コメント〕

- 国からは、安心につながる実例データを積み上げ、説明材料を充実していくことなど、今後の対応が一部示されたものの、本県が、今求めている、県民の皆様のご理解とご納得を得るための情報やデータを得ることができず、不満足な内容でありました。

例えば、焼却前の受け入れにおける放射性物質の基準については、受け入れ側にその判断を委ねたり、焼却灰埋立地の跡地利用を踏まえたきめ細かな安全基準の設定等については、これまで示された基準で安全であるなどといった回答でありました。

- 本県としては、被災地に対し、できる限りの支援をしていく姿勢はいささかも変わりませんが、災害廃棄物の受け入れという問題を検討する上では、安全な基準の設定や詳細なデータが必要不可欠であると考えております。

- このため、回答を早急に市町村等にお知らせし、ご意見をいただいた上で、必要な事項を再度整理し、国に再質問するとともに、国として責任を持った対応をしていただくよう、強く要請してまいりたいと考えております。